

特集

小規模特認校制度で開かれた学校に 丹那小学校

小さな学校だからこそできること

丹那小学校の魅力



1 少人数ならではのきめ細やかな指導によって、個に応じた学びを進めます

基礎基本の定着



目標を立てた漢字の「読み・書きチャレンジ」やNIE※に取り組めます。読む力が高まります。
※ NIE…新聞を教材活用する活動

安心して取り組める英語教育



小学1年生からALT※とゲームや会話を中心とした学習を行います。英語への興味関心が高まります。
※ ALT…外国語指導助手

充実した情報教育



目的に応じた情報発信やプログラミングの活動をととして、情報活用能力や問題解決能力が高まります。

2 自然豊かな丹那で体験活動や交流をととして子どもたちに主体性が育ちます

季節の食農酪農体験



地域の協力で米や野菜を育て食べたり、酪農体験をしたりして食のありがたさについて考えます。

地域・ジオ学習



玄岳、丹那断層、丹那トンネルなどのジオサイトや歴史を学び、地域を大切にすることが高まります。

他校および国際交流



町内および海沿いの学校の児童や海外からの体験に来た児童と交流することで世界観が広がります。

3 一人一人にあった役割を担うことで、挑戦し最後までやり抜く気持ちが育ちます

行事では一人一役担当



役割を果たすために友達と協力したり、自分で工夫したりすることで達成感や所属感を味わいます。

活発なたてわり活動



日常的に異年齢との交流があります。ふれあいをとおして思いやりや上級生を慕う気持ちが育ちます。

主体的な表現活動



授業だけでなく、行事などで全校の前で自分の思いを伝える機会が多く、表現力が育ちます。

令和5年度から丹那小学校は、希望すれば学区外から通学が可能になる「小規模特認校制度」を採用します。
豊かな自然環境と地域の温かさが魅力の丹那小学校の取り組みを紹介します。

問合せ先／学校教育課 (979-8121)
丹那小学校 (974-0024)



▲採光に配慮した丹那小学校の校舎

【学校教育目標】

挑戦 はじける笑顔 丹那の子

【校訓】

何くそ やりぬくぞ

【児童数】 59人

学年別児童数

学年	1	2	3	4	5	6
児童数	8	9	6	10	11	15

(5月1日現在)

町内の子どもは、住所地によって指定された学校へ通学することが定められています。
小規模特認校とは、特定の学校を「特認校」として指定し、少人数での教育のよさを生かした教育活動や豊かな自然環境のなかで、子どもを学ばせたい保護者や学びたいという児童に、一定の条件のもとで住所地に問わず特別に特認校への通学を認める制度です。
町は、6月に丹那小学校を町内で初めて小規模特認校に指定しました。中山間地で顕著な少子化の影響を受けるなか、この新たな取り組みで町の教育は変わりつつあります。

丹那小学校は、明治6年に函南学校第一支校丹那学舎として法輪寺を仮使用して開校し、令和5年で開校150周年となる歴史のある学校です。学校の周辺は、山々や田んぼ、牧場など多くの自然に囲まれています。恵まれた環境のなか、子どもと先生だけではなく地域とも密着した教育を行っています。
学校の教育目標は「挑戦はじける笑顔 丹那の子」です。試行錯誤を繰り返して課題を解決し、自分の成長を実感して笑顔になる子や丹那のすばらしさを体感することにより、丹那に誇りと愛着をもつ子の育成を目指しています。

小規模特認校制度とは

丹那小学校の沿革と教育

令和5年度 丹那小学校 小規模特認校児童募集について

丹那小学校では、令和5年4月から学区に関係なく、次の条件のもとで町に住所のある児童の受け入れを開始します。丹那小学校へのお子様の就学を希望する保護者は、内容を確認のうえ、お申し込みください。

就学条件

就学にあたり保護者は、次の条件を就学期間中も含め、全て満たすことが必要です。

- ①児童とその保護者が町内に在住、または就学までに町に転入見込みであること
- ②通学する小規模特認校の教育活動およびPTA活動などに賛同し協力すること
- ③通学における安全確保は、保護者の責任のもとに行い、その費用についても保護者が負担すること

募集人数

10人程度

募集スケジュール

【学校説明会】

第1回…9月14日(水) 10時30分～12時
第2回…10月17日(月) 13時30分～15時
※お子様の就学を希望する保護者は、参加してください。事前に丹那小学校に連絡をお願いします。

【就学申込み】

11月30日(水) までに申請書を丹那小学校、または学校教育課窓口に提出してください。申請書は学校教育課窓口および丹那小学校で受け取れます。または、町および丹那小学校ホームページからも入手可能です。



丹那小学校
ホームページ
QRコード

【面接】

申請書提出後、丹那小学校にて面接を行います。

【問合せ先】

学校教育課(979-8121) 丹那小学校(974-0024)

interview 保護者と児童に聞きました！ 丹那小学校のいいところ



保護者も子どもも顔がわかるのが小規模校の良いところです。学校は、親や地域の人より良い環境づくりのために提案したことを受け入れてくれます。行事では、子ども・保護者・地域・学校の団結力が強く発揮されます。

小学6年生の父



子どもたちみんな仲が良く、小学1年生から6年生までそれぞれが自分なりの目標を立ててそのことに向かって頑張っています。勉強をしていて難しいことなどがあると互いに教えあったり、本を紹介したりしています。

小学6年生



丹那小学校は多様性を受け入れてくれる学校です。海外の子ども体験入学に多く来ますが、学校にすぐ溶け込めます。また、丹那牛乳や野菜などおいしい農産物が多くあります。学校行事にも保護者を毎年誘ってくれるので楽しみにしています。

小学5年生、2年生の母



学校の中に自然がいっぱいでいろんな生き物が見つかるのが良いところです。昼休みや20分休みにはグラウンドに出て学年や男女関係なくみんなでドッジボールをして遊んでいます。

小学4年生



上の子の転入にあたっての体験入学で訪れた時に児童の温かさを感じました。親が望めば学校の活動に参加できる雰囲気魅力的です。子はいずれ親元を離れてしまうので、今の時間を子どもとたくさんふれあい楽しんでいきます。

小学5年生、2年生の母



人数が少ないからこそ休み時間みんなで遊べる場所が良いところです。1年に4つのミッション(玄岳遠足、オール丹那運動会、自給自足DAY、ありがとうの会)があり、それに向けてみんなで頑張っています。

小学6年生

オール丹那の共有体験で、 子どもも大人も成長できる学校

土屋校長先生が思う
丹那小学校って
こんな学校



丹那小学校では、子どもたちに地域や保護者と協働することで、オール丹那の共有体験となる4つのミッションを課しています。

1つ目は、60年以上続く行事である5月の「玄岳遠足」です。学校から標高798mの玄岳山頂まで往復で約15km。毎年、30人以上の保護者も一緒に登ります。泣きたくなる低学年の子どももいます。が、上級生が励ましの声をかけたり、荷物を持ってあげたりします。今年助けてもらった子どもは、数年後には他の子を気遣えるようになっていくはず。みんなで力を合わせて全員が登り切ることで、それぞれが「丹那っ子」の一員として認められます。最後には、相模湾から駿河湾

まで360度見渡せる山頂で校歌を全員で歌い、最後まで登り切れたことを祝福するためにお茶で乾杯します。

2つ目は、10月の「オール丹那運動会」です。丹那幼稚園の園児・保護者・地域の人・卒業生などが集まります。園児のかわいいダンス、リレーや親子競技、子どもが大人に挑戦する種目もあり、1日中歓声と笑顔が絶えません。

3つ目は、11月に春先からそれぞれの学年で栽培してきた作物を使って昼食を作る「自給自足DAY」です。毎年新しい料理が登場し、丹那の大地とお世話になった人に感謝し、みんなで味わいます。4つ目は、3月の6年生と地域の人に感謝の思いを伝える「ありがとうの会」です。



▲収穫を喜ぶ子どもたち